

従業員研修の実施状況に関するアンケート結果

東京商工会議所

【調査目的】 当所研修センターの研修講座を利用している企業から、コロナ禍での従業員研修の実施状況やオンライン研修に関する動向、課題を把握するため

【調査期間】 2021年2月26日（金）～3月8日（月）

【調査対象】 1,000社

※2019年4月1日～2021年1月31日に当所研修センター主催の研修講座に利用した企業より無作為に抽出

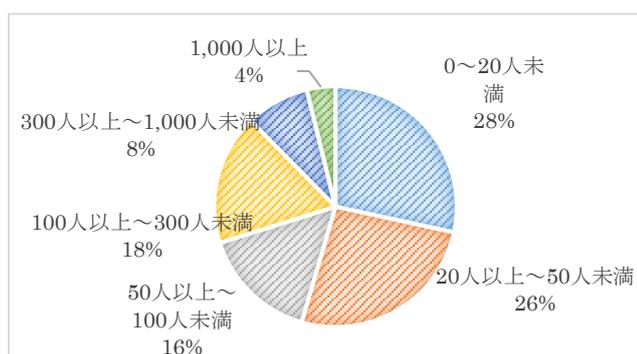
【回答数】 211件（回答率21.1%）

【回答方法】 メールによる調査回答先リンクの送付、WEBアンケートシステムでの回答

I. 企業の属性

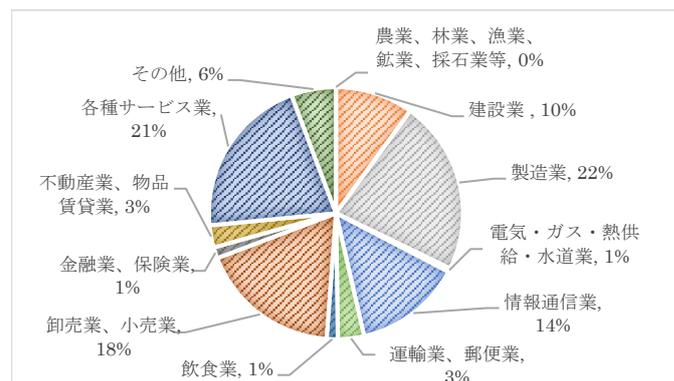
■回答企業の従業員規模

図1：従業員規模



■回答企業の業種

図2：業種



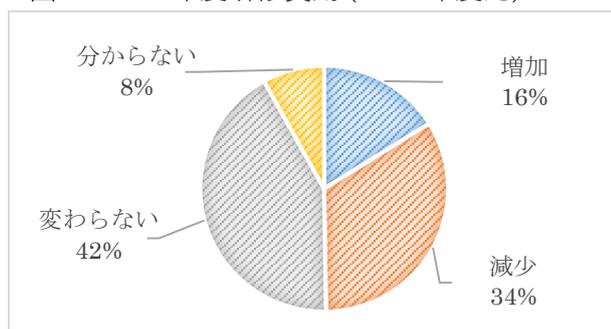
II. 調査結果

■研修費用について

(1) 2020年度研修費用（前年度比）

「変わらない」（42%）が一番多く、次に「減少」（34%）、「増加」（16%）と続いた。

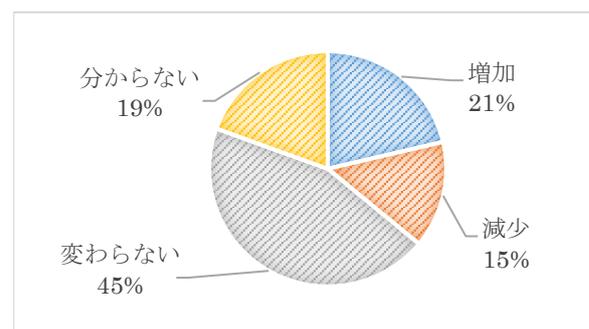
図3：2020年度研修費用（2019年度比）



(2) 2021年度研修費用（今年度比）

「変わらない」（45%）が一番多く、次に「増加」（21%）が「減少」（15%）を上回る結果だった。

図4：2021年度研修費用（2020年度比）



■研修の実施状況について

(1) 現在の実施状況

約半数の企業が「通学とオンラインを併用」(50%)し、「オンラインのみ利用」(20%)が「通学のみ利用」(13%)を上回った。調査時点で「研修を実施していない」は(17%)だった。

また従業員の研修選択を認めているか聞いたところ、「従業員が希望した後、管理職や担当部署が承認したもののみ認めている」(50%)、次いで「会社が選択した研修の中で、従業員が研修を選択することを認めている」(31%)となった。従業員の講座選択を「認めていない」は(6%)だった。

図5：研修の実施状況

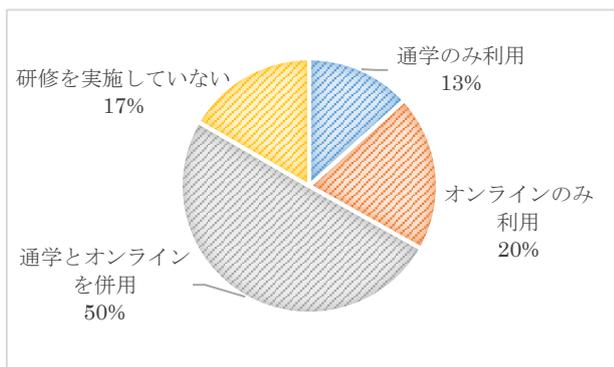
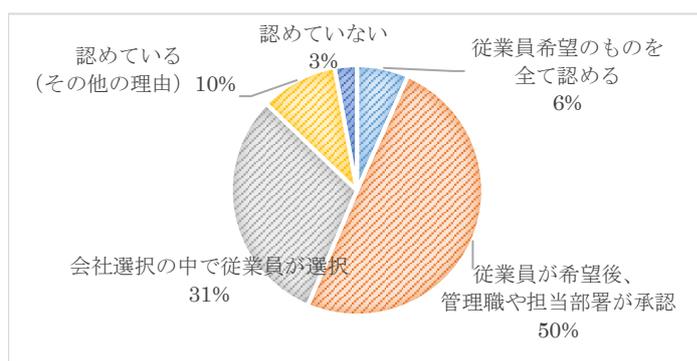


図6：従業員の講座選択



(2) オンラインについて

オンラインの利用については「2回以上」(52%)が一番多く、次いで「使用していない」(19%)、「今後利用予定」(14%)、「1回」(10%)と続いた。

また、オンラインの利用に関して「内容によって通学とオンラインを選別したい」(54%)が最も多く、「感染症対策として利用したい」(21%)、「オンラインを積極的に利用したい」(18%)と続き、最も少ないのは「利用したくない」(7%)だった。

図7：オンラインの利用

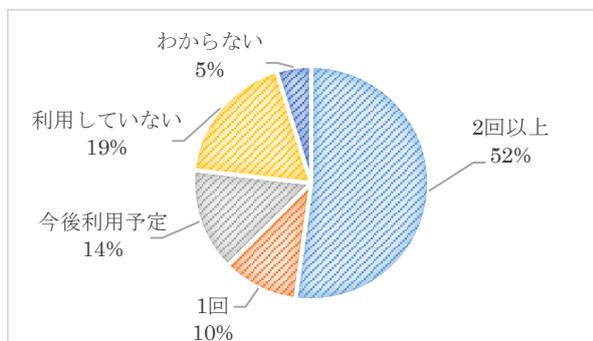
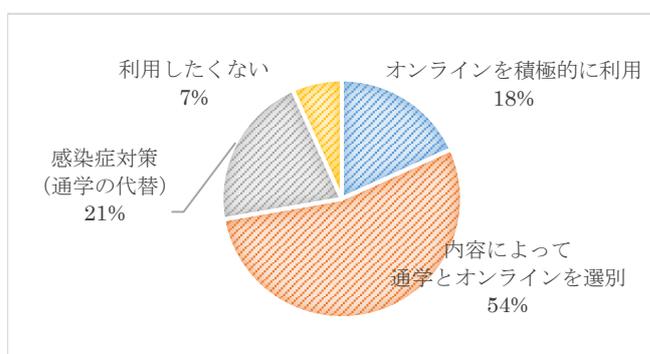


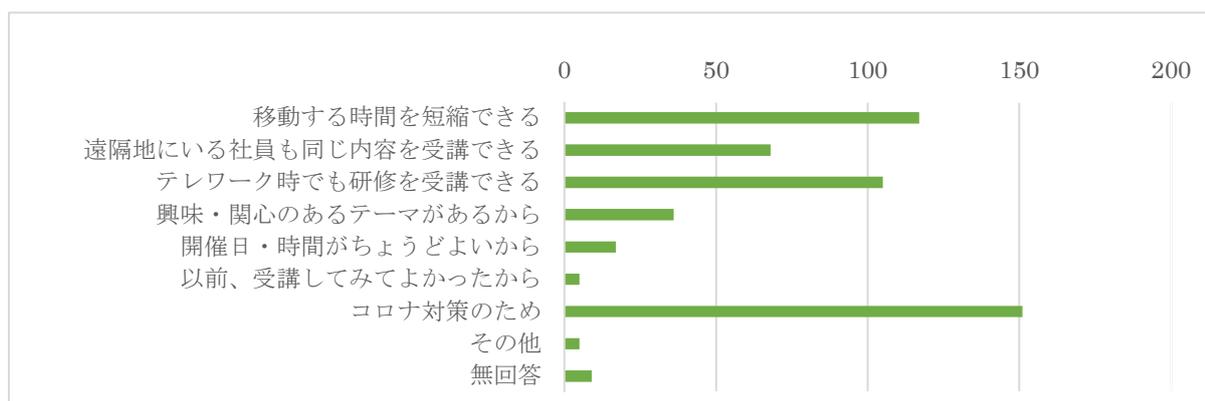
図8：オンラインへの担当者の考え



オンラインを選択する理由を聞いたところ、「コロナ対策」が最も多く、次いで「移動する時間を短縮できる」「テレワーク時でも研修を受講できる」「遠隔地にいる社員も同じ内容を受講できる」と続いた。

図9：オンライン講座を選択する理由

※複数回答可



一方で、オンライン研修の課題を聞いたところ、「受講効果が見えづらい、不安がある」が最も多かったが、「特に困っていることはない」にも多くの回答があった。

図10：オンライン講座を選択する理由

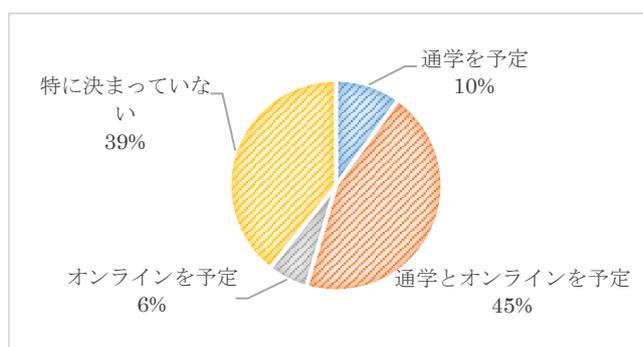
※複数回答可



■次年度の研修計画について

次年度研修計画について聞いたところ、「通学とオンラインを併用」(45%)が最も多く、次いで現時点で「特に決まっていない」(39%)が続いた。「通学を予定」(10%)、「オンラインを予定」(6%)であった。

図11：次年度の研修計画（受講形態）



以上